

きたことを実感しました。

**このような中で、学校の運営で心掛けた点は何でしょうか。**

(校長) コロナ禍の中にあっても、学校教育目標「二兎を獲る！」を実現することです。第一志望の進路実現に加えて、コロナ禍の中でできる、最大限のヒガスミの自主活動を引き続き行うことです。教職員一丸となった支援の下、生徒たちは、自分たち自身の力で様々な行事における自主活動を充実してきました。その結果、学校教育自己診断における学校生活満足度(「ヒガスミに来てよかった」と回答した生徒)は、88%となり、前年度よりも2ポイント上昇しました。

**特に、学校行事について中止や形態の変更などいろいろ取り扱いに苦労されたのではと推察いたします。**

(校長) 授業日数の確保及び生徒の安全を確保するため、体育祭は苦渋の決断により中止となりましたが、文化祭については、生徒のみの参加による校内開催とし、催し物としては、3年生の合唱コンクールを中止し、代わりに展示や動画制作を充実するなど、各クラスで今までにない工夫を凝らした出し物を考えてくれました。緑友会館や体育館での舞台発表は勿論、教室内ジェットコースターの設置や屋外ステージなど例年にない素晴らしい出し物も数多く見られました。



放映については、単なる定点撮影ではなく、2年生が数台の映像用のカメラで撮影したものを配信室の機器で映像の切り替えを行いながら配信したものです。内容は、校長ブログ及び芸能文化科ブログからご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

**この状況から導かれた教訓は何でしょうか。**

(校長) 校長ブログにも書いていますが、コロナ禍の中で、「ピンチをチャンスに変える」ことです。同窓会の皆さま方、保護者の皆さま方、そして教職員の支援の下、ヒガスミの生徒たちは、戸惑いながらも確実に新しい1頁を刻んでくれています。

**今後、企画されていることをご披露いただける範囲でご教示ください。**

(校長) 令和3年度からは、大阪府教育庁の「GIGAスクール構想」の一環として、全府立高校の生徒に一人1台端末が貸与されます。加えて、関係団体の皆さま方よりご支援をいただけると伺っておりますので、本年度導入しました「オンライン授業」がさらに充実するものと期待しています。

また、例年で支援いただいている夏休みの海外スタディツアーについては、中止となりましたが、国内におけるイングリッシュキャンプを企画しております。2021(令和3)年2月現在では、宿泊が禁止されておりますが、ぜひ何らかの形で実現したいと考えております。

\*

東住吉高校第20代校長、萩原 美由紀氏は、2021(令和3)年3月末で定年退職を迎えられましたが、再任用校長として引き続き本校で勤務されています。



文化祭の様子

昨年度は、秋季に遠足やクラスマッチを実施し、クラス内での親交も深めることができましたと思います。

また、部活動においても感染症対策を取りながら実施し、書道部の全国大会出場に加えて、女子バレー部が一部リーグで優勝するなど、素晴らしい成果を挙げてくれました。

**芸能文化科の発表会では内容を配信するなど、新たな取り組みがあったと伺っております。**

(校長) 8月の芸能文化科卒業発表会及び1月の3年生選択発表会は、生徒のみの参加とし、保護者の来場はご遠慮いただきましたが、ライブ配信を開始しました。

2020年主な行事(月日は6月始業当時の予定)			
月	日	主な行事	コロナ禍による影響
		入学式	中止 6月にオリエンテーション
		体育祭	中止
8	11-12	芸能文化科卒業発表会	入場制限、中継配信
9	5	文化祭	一般開放見送り(1日開催)
11	14-16	修学旅行	台湾→1月沖縄に変更 →中止(3月USJ遠足を実施)
11	21	チャリティーマラソン	一般参加中止
1	28	マラソン大会	
1	31	選択発表会	入場制限、中継配信
3	2	卒業式	生徒1人当たり保護者1名に制限